イソプロチオラン・パクロブトラゾール粒剤 **イネビタン粒剤**

取扱メーカー: 日農

原体メーカー:

成分: イソプロチオラン〔ジチオラン系 PRTR・1種〕…12.0% パクロブトラゾール〔ジベレリン生合成阻害剤〕………0.45%

日農, シンジェンタ **性状**: 淡褐色細粒

毒性:普通物 消防法:——

- ●いもち病に有効なフジワンと倒伏軽減効果を持つスマレクトを混合した水面施用剤である。
- ●良質米品種は一般にいもち病に弱く,長稈のため倒伏しやすいので,これらの品種に効率的な力を発揮する。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

【使用上のポイント】…………

- ●倒伏軽減に使用する時期といもち病又は登熟歩 合向上に使用する時期とが一致する場合に使用す る。
- ●湛水状態(田水深3cm以上)でまきムラのないよう均一に散布し、散布後少なくとも3~4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- ●稲の登熟歩合向上を目的として使用する場合, 低温等生育不良条件下で効果的であるので,これ らの条件下で使用することが望ましい。
- ●使用時期は幼穂発育期になるので,この時期の 水管理は入念に行なう。

【薬効・薬害等の注意】………

- ●極端な漏水田での使用はさける。
- ●倒伏軽減効果については次の注意事項を守る。
 - ○黒ぼく土壌では効果が十分に発揮されない場合があるので注意する。
- ○重複散布や多量散布は薬害を生じたり,後作物や次年度の作物に影響する場合があるので使用量を厳守する。
- ○本剤を使用した水田土を野菜類の育苗床土に 使用しない。
- ○本剤を使用した後に、作物として野菜類を作付する場合、浅い耕起では初期生育に影響する ことがあるので、丁寧に深く耕起する。
- ●温度,土壌,栽培品種及び連年使用など使用する水田の条件や栽培管理によって効果の発現程度に差異を生じるので注意する。

【安全対策上の注意】 ……………

- ●魚類に影響を及ぼすので、使用時は注意。
- ●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。



【適用と使用法】……

作物名	使用目的	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イソプロチオランを 含む農薬の総使用回数	パクロブトラゾールを 含む農薬の総使用回数
水 稲	いもち病防除 節間短縮によ る倒伏軽減 登熟歩合向上	$3\sim4~\mathrm{kg}$	出穂10~ 20日前 但し,収穫 45日前まで	1回	湛水 散布	3回以内 (移植前は1回 以内,本田では 2回以内)	1回